



東北電友会会報

92号

令和5年
1月発行

シリーズ 生き活きと
～仲間と集う 明日も共に～



写真提供 / 電友会 岩手支部

ごあいさつ

- NTT 東日本 宮城事業部 岩手支店長 1
- 支部長メッセージ 岩手支部長 2
- NTT グループ東北だより 3
- 震災・災害コーナー 4
- 東北地方本部だより 6
- 各地区電友会だより 9

— 目次 —

- 会員リレーコーナー 67
- 会友コーナー 文芸・随想 72
- お得な宿泊プラン
- 「癒湯自適倶楽部」の紹介 78
- NTT 東日本から退職者の皆さまへ 82
- 編集後記 83

ごあいさつ

東日本電信電話株式会社
宮城事業部 岩手支店長

片岡 千夏



謹んで新春のお慶びを申し上げます

東北電友会の皆様には日頃からNTT東日本グループの事業に対しまして格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の6月に岩手支店長として着任しました片岡千夏と申します。

出身は東京で、東北での勤務は初めての経験となりますが、岩手の豊かな自然や人々の温かさに触れながら仕事をさせて頂いていることに感謝しております。

コロナ禍により世界の生活様式や働き方が一変しましたが、NTTグループでも従来の働き方に捉われず、自宅等を主勤務地とする大胆な働き方改革にチャレンジしております。このような大胆な変革が可能なのも日本の通信の土台を築き上げていただいた諸先輩方の力によるものと感謝いたします。

また、昨年は3年ぶりとなる盛岡さんさ踊りが開催され、着任後初めて参加しました。規模を縮小しての開催との事でしたが、さすがが世界一の太鼓祭り。盛岡の街に響き渡る太鼓の音は大迫力で圧倒されました。我々NTTグループは総勢約80名の参加でしたが、踊り終わった後の社員の晴々とした笑顔は素晴らしいものでした。

さて、NTT東日本は、固定電話や光回線サービス「フレッツ光」など既存の回線事業が、売上高の7割近くを占めておりますが、スマートフォンの普及

を背景に、固定電話関連の収入は右肩下がり、回線に頼らない収益構造への変換が急務となっております。また地域では、少子高齢化や後継者不足、社会インフラの老朽化、地球温暖化対策など様々な課題を抱えております。特に東北ではそれらの課題が顕著に表れている地域も多数あることから、これらを解決し、持続可能な価値を創造する取り組みが求められております。

岩手支店では、県内の自治体とICTの活用による地域課題の解決及び地域活性化を目的とした連携協定を進めることとし、昨年7月には県内最大の地方銀行である岩手銀行様と両社が保有するリソースを活用した協働の取り組みによる持続可能な地域の未来づくりに向けた協定を締結しました。

岩手銀行様との協働事業の具体的取り組みの一つとして、岩手第2ビルの窓口跡地にライブマーケットの店舗&カフェである「AZLMCONNECT DCAFEmanor(エイゼットエルエム・コネクテッド・カフェマノルダ)いわて店」と地域と共用のミーティングスペースの運営を開始します。お近くにお越しの際には是非お立ち寄りいただき、新たな空間をご体験いただければと思います。

最後になりますが、東北電友会の益々のご発展、東北電友会会員の皆様のご健康、ご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

◎支部長メッセージ



岩手支部長

澤田 俊夫

電友会に入会して21年、岩手支部長・盛岡地区会長を仰せつかって10年になります。先輩方の情熱と努力により作り上げてこられた支部及び地区の舵取りが出来るか不安でしたが、N T T東日本様はじめ電友会本部・地方本部のご指導と各地区会員の皆さまの協力により今日を迎えることが出来ました。紙面をお借りして感謝申し上げます。

電友会活動は、新型コロナウイルスにより3ヶ年ほど全般にわたり制限されて来ました。コロナ禍の支部・地区の運営については、総会は書面会議、各種会議も書面かりモート、講演会・余技作品展等の各種イベントは中止、サークル活動もほぼ休止状態となり、加えて会員数は高齢化とN T T退職者の減により減少傾向が続いています。

電友会の通常行事は、支部理事会、盛岡地区総会、O B 大学講演会（年2回）、O B ・O G 交流会、余技作品展、地区対抗グラウンドゴルフ大会があります。サークル活動は、私も囲碁と麻雀クラブに所属し、仲間と楽し

みながら生き甲斐づくりに励んでおります。

定例行事以外で印象深かったのは、各地区総会への出席と懇談、盛岡地区物故者の弔辞（58名奉読）、北四県親善囲碁大会（各県8名代表対抗戦／15回出場）、盛岡地区O B バス旅行会（四泊五日／6回参加）、盛岡地域交流センターでの余技作品展（6回陶芸作品出展）、全国インターネット囲碁大会出場、台風10号水害被災者現地見舞い、気仙沼大島震災復興支援下草刈り参加等が挙げられます。

会員としてこの時期にこれまでの自らの歩みを振り返り、今後の活動に活かせればと考えております。

新型コロナウイルスによる外出自粛中は、岩手の至宝M L B 二刀流大谷翔平選手と菊池雄星投手活躍のテレビ観戦、完全試合ロツテ佐々木朗希投手の更なる記録期待、夏の甲子園仙台育英学園高校が東北勢初優勝の快挙等スポーツの話題に一喜一憂しながら家飲みの日々を過ごしております。

未来への期待は、ここ岩手八幡平市安比高原に英国名門私立校ハロウインターナショナルスクール安比が8月開校となり、S D G s が叫ばれる中、十代の若者を対象に世界のリーダーを育む教育が開始されたことではないでしょうか。

新型コロナウイルスは、ワクチン接種の効果もあり減少傾向も見られますが、一刻も早く完全収束し、会員の皆さまと以前のようにコミュニケーションを取りながら電友会活動が再開されることを念願しております。



◆NTTグループ東北だより

◎スポーツクラブ後援会情報

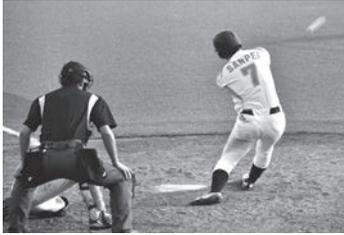
日頃より、NTTグループ東北スポーツクラブ後援会の活動にご理解とご協力いただき誠にありがとうございます。また、「東北マックス（ベースボール・バドミントン）」へ対し多くの方から応援いただき、改めて感謝申し上げます。

昨年の後援会募集については、約150名の皆様にご賛同いただきましたことに厚く御礼を申し上げます。

ベースボールクラブは、7月に開催された



東北大会で首位打者獲得
キャプテンの久慈選手



選手を鼓舞しながら
チームを引っ張った三瓶選手



4番で活躍の三浦選手



東北大会優勝

国大会へ出場いたしました。全国大会の結果については、序盤は接戦を繰り広げたものの初戦敗退となりました。選手一同は、皆様の期待に応えられなかった悔しさの中、来年度は必ず勝てる



エースとして活躍した李選手



鈴木・葦澤選手



湊谷選手



日光選手



佐伯・浅原選手

東北バドミントン選手権で男子シングルス上位独占、混合ダブルス優勝のバドミントンチーム。全日本総合バドミントン選手権の切符を手に入れました

チームを作り上げ勝って御礼をしたいと意気込んでおります。

バドミントンクラブは、8月に行われた「東北バドミントン選手権大会」において、青年男子ダブルス優勝、青年男子シングルス上位独占、混合ダブルス優勝と東北では敵なしの強さで、輝かしい成績を収めております。また、宮城県代表として10月に栃木県で開催された国民体育大会にも出場することができました。11月からは、2年ぶりに国内トップリーグである「S/Jリーグ」が開幕し、1月には「仙台大会（1月15日カメイアリーナ仙台

「仙台市体育館」が予定されていますので、是非、会場までお越しいただき、地元仙台で闘う選手への熱いご声援をお願いいたします。

今年も昨年の成績以上の結果を残せるよう、選手・スタッフ一同、頑張つて参りますので、引き続きのご支援・ご声援を賜りますようお願い申し上げます。



少数精鋭の
2022メンバー



S/J リーグ高岡大会 試合後、観客に挨拶



◎令和4年の災害に思う

東北地方本部

令和4年も災害の多い年でした。3月16日深夜に福島県沖地震が発生し、震度6強を観測したのは宮城県登米市、蔵王町、福島県国見町、相馬市。そのほか震度6弱～5弱までは東北6県、茨城県、栃木県の各地で観測しました。津波の心配はなかったものの深夜の地震に驚いて転倒したり逃げようとして窓から転落して亡くなった方、怪我をされた方が多くいらっしゃいました。東北自動車道等の高速道路や常磐線等の鉄道も多大な被害があり6月まで通行止めになる区間がありました。白石城も壁が崩れ、修復作業に8ヶ月を要する被害でした。

7月になると日本各地で豪雨による被害が多発しました。宮城県を中心とした河川の氾

濫や土砂災害、8月には北陸地方から北海道にかけて線状降水帯が居座り、更に台風8号も発生し山形、秋田、青森各県の被害は甚大でした。こういった豪雨による浸水で地域に被害が及ばない様に「田んぼダム」を設置し大雨になると一時的に雨水を田んぼにため、下流の地域に流れる雨水を減らす装置をつける、という地域が出始めています。昔は田んぼが沢山あり、そこに雨水が流れ込んでいましたが、現在のように宅地開発や道路の舗装が進むと雨水の行き場がなくなります。田んぼダムはこういった現状に役立つといわれています。また、宮城県古川地方の中学生が7月の豪雨で自宅周辺の浸水状況をみて家族がどう行動し、自分は何をするべきか、今後の対策までを新聞に投稿していました。

①大雨の中、外に出るのは危険なため、避難所への出入りは日没前を心掛ける。

②車は早めに高い場所へ移動する。

③地域のハザードマップを確認しておく。
④家族みんなで声を掛け合う。

車の移動については「移動しないで後悔するより移動して何もなかった方がいい」といった家族の声を聞いて高台へ移したそうです。まさに危機管理マニュアルの基本である「悲観的に準備する」を実践しているのです。それでも浸水の速度が早く、あっという間に自宅へ水が流れ込み驚いたこと等、実際に経験した人の生の声が綴られていました。

10月末宮城県で東北電力女川原発の事故に備えた避難訓練がありました。その中で、スマホを使用して「原子力災害版避難支援アプリ」が実際に使われました。スマホでマイナンバーカードを読みとり、住所氏名等を登録しておく、災害発生時に避難先がスマホに表示されます。避難したらその避難所でQRコードを読み取れば受付が完了し、誰がどの避難所にいるのかがわかる仕組みです。実際に訓練で使用してみてもアプリ利用者のほうが手続きが早く済み、便利で良いとの評価があったようです。ただ、スマホを持たない人はどうする？災害に直面したときに、何回も画面を押す行為は実際に逃げながらできないのでは？等、解決すべき問題もあるようです。機器に頼りすぎると、タブレットで確認した

から大丈夫だと思った、という思い込みで幼児を車内に置き去りにしたようなことが起こる懸念もあります。

必要なのは人間力ではないでしょうか。家族との繋がり、地域のコミュニティがしっかりとしていれば、他の人を気遣う心を失わずにいれば、助け合うことができるのです。スマホやタブレットなどの機器からちよつと離れて周りを見渡せば、失うことのなかった命が見えたはずです。便利な機器は現代社会に欠かせませんが、そればかりに頼って人間力を欠いてしまうことのないよう気を付けたいものです。



ドコモビジネス、はじまる。

**d docomo
business**

NTTコミュニケーションズ株式会社
東北支社

東北地方本部だより

東北地方本部事務局

◎支部長会議の開催

令和4年7月21日、NTT五橋ビルにおいて3年振りに集合方式で開催しました。本部理事会・評議員会（書面会議）模様についての報告、電友会会報92号の発行について、ボランティア活動賞の追加推薦について、ボランティア活動物品支援申請状況について、支部への支援について審議・報告が行われました。

◎事務局長打合せ会の開催

令和4年8月25日、eスポーツ体験会に続いて事務局長打合せ会を開催しました。支部への支援について、ボランティア活動賞の追加推薦についての報告、会報93号からの表紙のテーマ設定について意見交換を行いました。

◎文化活動協賛金運営委員会

令和4年9月2日を予定していましたが、書面会議にて開催し、令和3年度文化活動報

告、令和4年度文化活動計画について承認されました。

◎第32回電友会ボランティア活動賞の受賞

令和4年11月16日、本部主催の表彰式が3年振りに「KKRホテル東京」において行わ



高石本部長、佐藤事務局長と

れ、高部会長から受賞者の皆様へ表彰状が授与されました。

東北の受賞者は次の方々です。

○奥 京子さん（宮城支部）

「東日本大震災をきっかけとした傾聴ボランティア活動」

東日本大震災では、山元町が津波の襲来により633名の尊い命が奪われました。被災された方には誰かに話を聞いて欲しいという思いがあったのか、辛かった体験を話された時は「最後まで話を聞いてくれてありがとう」と言われました。その後「やまもと傾聴ボランティアの会」に入会して10年に亘り活



電友会高部会長より表彰状授与
奥京子さん

動を続け、その間延べ2167人の被災された方の心に寄り添ってきました。

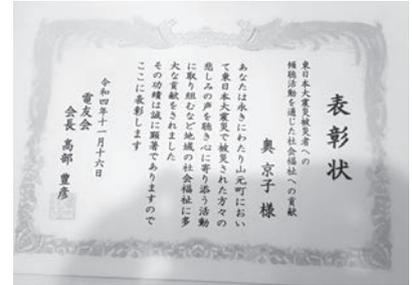
ボランティア活動はこちらから何かを与えるものではなく、相手の方から生きる姿勢や喜びを学ばせていただくことだと思います。心と体の健康は何にも優る宝物です。

○田代明子さん、菊池貞子さん、高橋ノブさん（岩手支部）

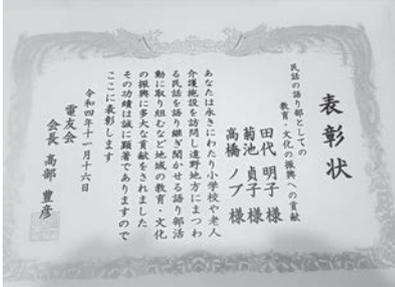
「遠野昔話語り部の活動」による民族文化の伝承と地域貢献

平成12年から民俗学者柳田邦男の「遠野物語」を基本に、遠野地方にまつわる民話を語り継ぎ、聞かせる活動に有志14名で取り組んでいます。

小学校等を訪問し、「語り部の活動」による児童等の健全育成や民族文化の伝承。老人介護施設等への出前



東日本大震災被災者への傾聴活動を通じた社会福祉への貢献



田代明子さん・菊池貞子さん・高橋ノブさん 民話の語り部としての教育・文化の振興への貢献

語り、観光客等へのおもてなし語り、盛岡少年鑑別所での出前語り等。

地元FMラジオ・CATVの「柳田国男の遠野物語」の収録協力など、各地域でのイベント等へ出向き、地域の教育・文化活動に貢献しています。

東日本大震災では、全国から集まったボランティアが被災現場で活動を行い、疲労困憊で帰ってきますので、皆さんに「遠野昔話」を語り聞かせると「疲れが軽くなるよ」などと言われ喜ばれました。

人とのふれあい、出会いが大事な財産となっており、これからも民族文化の伝承、地域振興、後継者育成に取り組んでいきたいと思えます。



電友会高部会長より表彰状授与 田代明子さん

◎恒例行事の中止

○全国女性の会（本部主催）

○震災復興支援ボランティア活動

・気仙沼・大島での復興支援（持株主催）

震災復興支援ボランティア活動については昨年度に引き続き中止となりましたが、再開されましたら「チームNTT」として、積極的に参加していきたいと思えます。皆様のご協力をお願いします。

◎物故会員の叙位・叙勲

次の方々は、生前のご功績により、それぞれのご逝去の日をもって叙位・叙勲の荣誉に浴されました。

- （叙位・叙勲）
- （支部名）（ご氏名）
- 従六位瑞宝単光章 宮城 森田 伸雄様
- 従六位瑞宝単光章 宮城 西村 兼吉様
- 瑞宝単光章 秋田 山田 秋作様

（令和4年4月～令和4年11月）

◆ホームページを覗いてください

・新型コロナウイルス感染者の増加が続いていますが、全国旅行支援など行動制限が緩和され、電友会の活動も○年振りにという行事が各地区で行われています。

・宮城では3年振りにグラウンドゴルフ大会が、五ッ橋クラブでは4年振りに会員作品展

が開催されました。出展された全作品や会場の模様などの写真を宮城支部、五ツ橋クラブのホームページで紹介しています。

- ・福島ではサークル代表者会議を開催し、コロナ禍の中で今後の課題と活性化について意見交換を行いました。ゴルフなど屋外の活動は活発です。ホームページリニューアルの準備を進めています。
- ・岩手では各種行事が中止を余儀なくされていますが、3年振りに集合での支部理事会(総会)やOB大学が開催されました。サークル活動も徐々に再開しています。
- ・青森では3年振りの夏祭りで各地が盛り上がった様子が紹介されています。
- ・山形では感染予防対策を行い、支部理事会を対面で実施しました。また、スポーツ交流など屋外の活動が活発化してきています。
- ・秋田でも感染予防に工夫をして、支部定期総会を集合で実施しました。また、3年振りに開催された秋田竿灯まつりに参加しました。ホームページのリニューアルにも取り組んでおり完成が楽しみです。
- ・電友会情報のタイムリーな共有を図るうえで、各支部でも環境整備を行い、ホームページの現行化やリニューアルに取り組んでいます。お知らせや、行事予定、サークルや文化

活動の紹介の場として積極的に活用していきますので、時々ホームページを覗いてみてください。

～電友会はこれからの充実した人生をサポートします～



電友会東北地方本部

TEL022-212-1443
〒984-8519 仙台市若林区五橋3-2-1 NTT五橋第2ビル (1F)

トップページ	地方本部の概要	みんなの広場	栄典/葬祭	エンジョイライフ	
各種手続き	リンク	お問い合わせ	入会案内		

宮城支部

福島支部

岩手支部

青森支部

山形支部

秋田支部





資材をつなぐことで、情報をつなぐ。
そしてもっと豊かな未来をつないでいきます。



2022年10月1日合併により日本全国をカバーする「新生」資材リンコム株式会社になりました。



資材リンコム株式会社

東北支店 〒989-3124 仙台市青葉区上愛子字松原47-9 TEL022-302-8100
<https://www.slinkcom.jp>